

アグリ | ワーク | ポイント



藤枝営農経済センター 松本武志

米

まもなく
収穫を迎えます

病害虫防除

ウンカ類

ウンカ対策については、株元に薬剤がかりやすい出穂前の防除が基本で、出穂後の防除効果は低くなります。株元にウンカが多数確認できる場合や坪枯症状が発生した場合等の対応については、各営農経済センターに確認してください。

カメムシ

斑点米の発生要因であるカメムシ対策として、出穂後に防除しましょう。

液剤体系の場合は、出穂後に2回防除してください。

〈1回目〉 穂揃期

キラップジョーカーフロアブル 1000倍

いもち病・穂枯れ対策を兼ねて

ブラシンフロアブル1000倍を混用。

〈2回目〉 1回目散布から7～10日後

スタークル液剤 1000倍

粒剤体系の場合は、出穂7日後に防除してください。3cm程度の湛水状態で均一に散布し、4～5日間は湛水を保ち、散布後7日間はかけ流しをしないようにしてください。

スタークル粒剤

3kg/10a

米粒を充実させる水管理

幼穂形成期から出穂後10日間は、多量の水を必要とします。水を切らさないように管理し、その後は間断かん水を繰り返します。

落水時期を適切に

落水時期の目安は、刈取り7～5日前とします。早期落水による極端な土壌の乾燥は、胴割米の原因となるので注意してください。特に早生品種では、その傾向が強まります。収穫は、ほ場ごと十分に観察し、適期の刈取りを心掛けてみましょう。帯緑籾歩合が5～10%が収穫適期です。帯緑籾歩合が半減する日数は9月中旬までは5日、9月下旬以降は7日です。

出穂から収穫時期までの日数の目安

コシヒカリ 35日前後
きぬむすめ 40日前後
あいちのかおりSBL 45日前後

※出穂期：ほ場全体の5割くらいが出穂した頃

※穂揃期：ほ場全体の9割くらいが出穂した頃